

表現の工夫をとらえて読み、それを生かして書こう

中心学習材「『鳥獣戯画』を読む」「日本文化を発信しよう」（光村図書6年）

1 単元構想

（1）子供の実態

- ・筆者の主張を読み取り、事例と結び付けて考えることが概ねできている。
- ・自分の主張に必要な適切な事例を具体的に取り上げて書くことができない子供が多い。
- ・自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力が十分に身に付いていない。

（2）身に付けたい国語科固有の資質・能力

<指導事項の系統>（既習事項）

- ・筆者の考えやものの見方は、事例や理由、論の進め方に表れることを理解して読む。（5年）
- ・図表やグラフ、絵、写真などに対応させて文章を読む。（5年）
- ・目的に応じて資料を引用したり、写真や図表を用いたりして、書き表し方を工夫する。（5年）
- ・伝えたいことの中心が伝わるよう、見出しや呼びかけを工夫する。（5年）

<付けたい力>（重点指導事項）

- 〔知〕 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付く力（（3）読書 オ）
- 〔思〕 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする力（C 精査・解釈 ウ）
筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える力（B 構成の検討 イ）
引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力（B 考えの形成・記述 エ）
- 〔主〕 学習の見通しをもち、粘り強く文章全体の構成や展開を考え、事象の説明をする文章を書こうとする力

（3）主たる言語活動とその特徴

言語活動 日本文化の魅力を伝えるパンフレットを作り、発信する活動

- 特徴**
- ①複数の本を活用することで、日本文化の魅力について考えを明確にしたり、自分の考えを支える資料を見付けたりすることができる。
 - ②「『鳥獣戯画』を読む」で、構成・表現・資料の用い方の工夫を学び、それらを生かして発信することができる。

（4）深い学び実現のための手立て

①働かせる「言葉による見方・考え方」

- ・要旨との関係性について考えをもつために、用いている事例・資料と全体構成に着目する。（読む）
- ・効果的な論の進め方について考えをもつために、事例・資料と自分の主張とのつながりについて着目する。（書く）
- ・効果的な文章表現についての考えをもつために、文章表現や資料の用い方に着目する。（書く）

②主に発揮させたい「学びを推進する力」（汎用的な資質・能力）

論理的に思考する力

- 《力の具体》 ・情報と情報の関係性を吟味する力
- 《選択の根拠》 ・「論理的に思考する力」を発揮させたならば、筆者が日本文化のよさを伝えるために、どのように論を進めているかについて捉えることができると考えたため。

表現する力

- 《力の具体》 ・情報を編集、操作する力
- 《選択の根拠》 ・児童が「表現する力」を発揮させたならば、日本文化の魅力についての自分の考えをパンフレットに表す際に、より効果的な伝え方の工夫ができると考えたため。

③具体的方策

- 方策①要旨と事例・資料の関係性を捉え、筆者の論の進め方について考えをもてるよう、説明や言葉と資料を対応させて読み、各事例で伝えている事柄を明確にする。
- 方策②筋道の通った構成で書くことができるよう、主張に合う事例を選択した後、各事例で述べたいことと主張とのつながりについて交流する場を設ける。
- 方策③伝えたいことを効果的に表現するために、主張とのつながりに気を付けて文章を書く視点を与える。

2 単元の学習計画

(1) 単元の評価規準

- 〔知〕①パンフレット作りの活動を通して、読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。
((3) 読書 オ)
- 〔思〕①「読むこと」において、文章と図などを結び付けて読み、筆者の論の進め方について考えている。
(C 精査・解釈 ウ)
- ②「書くこと」において、日本文化の魅力について伝えたいことを明確にし、筋道の通った文章となるように、パンフレットの構成を考えて書いている。
(B 構成の検討 イ)
- ③「書くこと」において、自分の考えを効果的に伝えるために、書き表し方を工夫している。
(B 考えの形成、記述 エ)
- 〔主〕①日本文化の魅力が伝わるように、粘り強くパンフレット全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもってパンフレットを作ろうとしている。

(2) 指導と評価の計画 (全 12 時間)

次	時	学習活動	指導上の留意点 (発揮させる「学びを推進する力」)	評価規準・評価方法等
一	1	・パンフレットで日本文化の魅力を伝えるという言語活動を知る。 ・「『鳥獣戯画』を読む」を読む目的を確かめる。	・学習を見通し、学習への興味関心を高めるために、パンフレットの例を示し、日本文化を紹介する。 (見通す力)	
二	2	・「『鳥獣戯画』を読む」を読み、構成と要旨を捉える。	・文章全体を読ませる際に、どの資料の何について書かれているかに着目させる。 (論理的に思考する力)	
	3	・筆者がどのような事例や図を用いて説明しているかを捉える。 (絵について)	・各段落で筆者が述べていることを捉えさせるために、「絵」や「絵巻物」についての客観的な説明と、筆者の評価が分かる叙述に着目させる。 (論理的に思考する力)	
	4	・筆者がどのような事例や図を用いて説明しているかを捉える。 (絵巻)		
	5	・筆者の構成・表現・資料の用い方の工夫から、パンフレットに生かせることをまとめる。	・事例や資料の取り上げ方や、読み手を引き付ける表現について考えさせるために、前時までに捉えた各段落の役割や資料の提示の仕方に着目させる。 (論理的に思考する力)	[思考・判断・表現①] ノートの記述 ・筆者の構成・表現・資料の工夫を捉えているかの確認
	6	・著作権について知る。 ・本を読んで伝えたい日本文化を考える。 ・必要な情報をタブレットで集める。	・日本文化の魅力について、自分の考えをもてるよう、2時間目から並行読書で集めた情報を、カードにまとめさせる。 ・自分の考えが明確になるよう、グループで構成を決めた後にパンフレットに見出しとリード文を書かせる。 (自己決定する力)	[知識・理解①] ノートの記述 ・読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付いているかの確認
三	7	・日本文化の魅力について、伝えたいことを決める。(取り上げるテーマ、伝えたい魅力) ・同じテーマのグループで、パンフレット全体の構成を考える。	・筋道立った構成となるよう、用いる事例や資料で伝えたいことを明確にしながら小見出しを付けさせる。 (表現する力)	
	8 (本時)	・集めた情報の中から、伝えたいことに合う事例を検討し、必要な資料を選ぶ。 ・事例と伝えたい日本文化の魅力との関係を検討しながら、割り付けをする。		[思考・判断・表現②] パンフレットの割り付け ・筋道の通った構成になっているかの確認

四	9・10	・ 日本文化の魅力についての考えが効果的に伝わるように、書き表し方を工夫して、パンフレットを書く。	・ 書き表し方を工夫して書くことができるよう、パンフレット例を示し、書く内容の観点を確かめさせる。 〈表現する力〉	[思考・判断・表現③] パンフレットの記述 ・ 伝えたいことが伝わるように書き表し方を工夫しているかの確認
	11	・ 自分の考えが伝わる表現になっているかを確かめ、パンフレットを完成させる。	・ 文章全体の構成や書き表し方に着目して文章を整えられるよう、これまで学んできたことを確かめの観点として示す。 〈評価する力〉	[主体的に学習に取り組む態度①] 観察・パンフレット・振り返り ・ 構成や表現を工夫して書き表すことに粘り強く取り組み、学習の見通しをもってパンフレットを作ろうとしているかの確認
	12	・ パンフレットを読み合い、日本文化の見方や表現のよさを伝え合う。 ・ 学習全体を振り返る。	・ 学んできたことを基に文章のよさを見付けられるよう、観点を示して交流を行わせる。 〈メタ認知する力〉	

3 本時の指導（8／12時）

（1）ねらい

- ・ 日本文化の魅力について自分の考えを効果的に伝えるために、主張と事例のつながりを考えて、パンフレットの割り付けをすることができる。

（2）展開

学習活動・学習内容（◎主発問）		指導の手立て 〈発揮させる「学びを推進する力」〉（※評価）
1 前時の学習を想起し、本時を見通す。	2 学習課題を確認する。	・ タブレットで集めた事例は、前時にプリントアウトさせ、紙媒体で個々に用意しておく。 ・ パンフレットの例を示すことで、本時の学習を見通せるようにする。 自分の考えを効果的に伝えるために、どのようにパンフレットを割り付けるとよいか。
3 パンフレットの例を基に、どのように割り付けられているかを確かめる。 ・ 見出しに対して、どのような事例が、どのように挙げられているかを確かめる。	4 事例を選び、割り付けを考える。 ○ 日本文化の魅力を効果的に伝えるために、どのような事例を挙げるとよいですか。また、どのように割り付けるとよいですか。	
5 用いる事例と割り付けについて、交流する。 （1）グループで交流する。（2～3人） ① 取り上げた日本文化のテーマと、魅力について（見出し、リード文） ② どのような事例を取り上げるか（小見出し） ③ どのように割り付けるか （2）全体で交流する。		・ 教科書の例を示し、各事例が、伝えたいこと（見出し）と関連していることを確かめ、事例を選ぶ際の視点を共有する。 ・ 効果的な割り付けの工夫として、事例がどのように配列されているかを共有する。 ・ 事例に小見出しを付けさせ、各事例で述べたいことを明確にする。 ・ 伝えたい日本文化の魅力（小見出し）と、各事例で伝える内容のつながりを関連付ける。 ・ 事例同士の関係を捉え、割り付けを決める。 〈表現する力〉 ・ グループ交流では、①～③についての考えや、悩んでいることについて話させる。聞く側は、事例に挙げたことが、日本文化の魅力（見出し）と合致しているかを観点とする。 ・ 全体交流では、グループ交流の中で話題になったことを取り上げる。（取り上げる事例について、割り付けについて）

○自分の考えをパンフレットで効果的に伝えるためには、 ・日本文化の魅力とのつながりを考えて、理由や事例を挙げるとよさそうだ。 ・それぞれの事例や資料で、伝えたいことは何かを考えると読み手を引き付けることができそうだ。	
6 事例と割り付けを見直し、学習を振り返る。 (1) 交流を基に、割り付けを完成させる。 (2) どのような事例を挙げたか。どのように考えて割り付けをしたか。	・割り付けが終わった児童から、振り返りを記入させる。 (※パンフレット)

(3) 評価

評価規準 《評価方法》	日本文化の魅力について、パンフレットでの効果的な伝え方を考えて事例を選び、割り付けを工夫している。 《パンフレット》
見取りの要素と 表現例	A ①②③が満たされている。 B ①②が満たされている。 ①事例で述べたいことを明確にして、小見出しに表している。 ②事例と日本文化の魅力（見出し）とのつながりを考えている。 ③事例相互の配列を工夫している。
個に応じた支援	・それぞれの事例で、伝えたいことを確かめることで、小見出しを考えさせる。 ・事例を用いたい理由を確かめる。